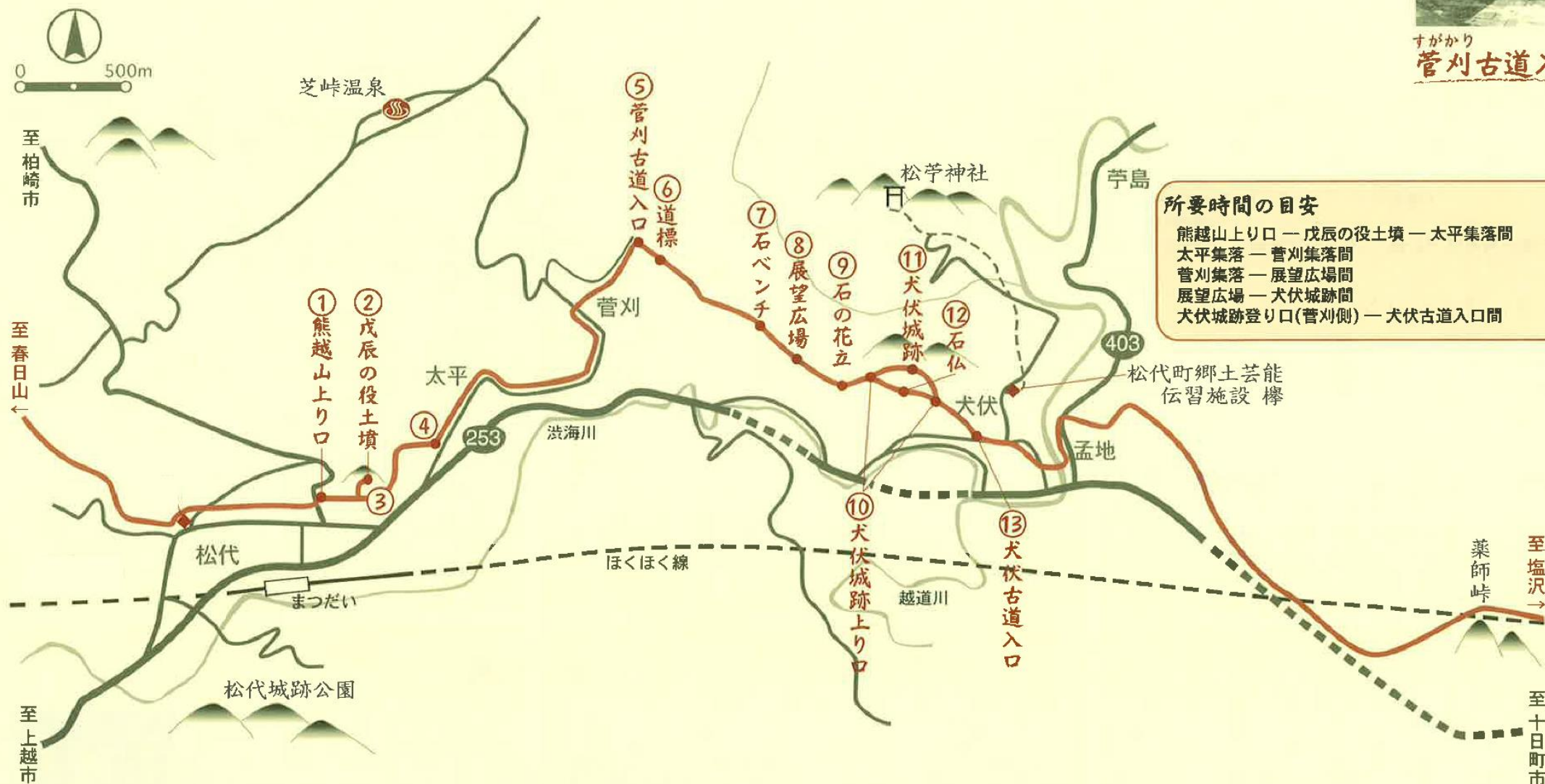


古道 松之山街道散策マップ

松之山街道は、北国街道の高田（上越市）と三国街道の塩沢宿（塩沢町）を結ぶおよそ十九里余の街道でした。菅刈から薬師峠（十日町市の境界）までの区間が、1996（平成8）年に文化庁より「古道百選」として選ばれました。



街道の歴史

中世

応永年間（1394～1427）、越後守護 上杉氏から関東管領が出ると、関東との交流が多くなりました。
天文一七（1548）年 家督相続した謙信が最も力を注いだ政策の一つが、内戦にむけた軍隊の迅速な移動のための交通路整備と要衝の確保でした。たび重なる関東出陣は、松之山街道の整備を進めました。

近世

松平忠輝・光長の両時代、領地が頸城郡東部から魚沼地方に広がり、領内統治の面から松之山街道は主要な街道として管理されていました。
松平光長時代、高田藩領が魚沼郡内に増加したことによる、魚沼郡内の役所や村々への御用状の継立や経済活動の活発化等により、松之山街道の役割は増しました。



くまごえやま
熊越山上り口

まつだい駅から歩いて5分、町道 大久保線から、石段を登ります。



戊辰の役土墳

明治元（1968）年の戊辰の役の折、松代を根拠地として戦った旧幕府軍は、四月二十八日、熊越山山中で官軍に敗れ、魚沼に敗走しました。ここに残る土墳は、この戦いで亡くなった浪士を村人が葬ったものと伝えられています。



たいへい
太平

町道に出てきたところが太平集落です。ここから、菅刈までの町道は、古道の道すじと重なり、道路脇に道祖神も見られます。



和紙工房 榎（けやき）
〒942-1504
松代町大字犬伏143

☎025-595-6692（FAX兼）
月～金 午前8時～午後5時
※体験は要予約（当日予約はできません）

伊沢和紙

紙すき体験

かつて地域の産業でもあった「伊沢（いさわ）紙」の工房となっており、誰でも紙すきを体験することができます。

2階は郷土芸能「松竹太鼓」の練習場となっています。



石仏

文化十四年十二月、犬伏村へ向かう花嫁一行が雪崩に遭遇し花嫁ほか6名が亡くなりました。石仏は、この不幸な出来事を供養するためにたてられました。



犬伏古道入口

現在の犬伏集落は、全体が戦国時代の館跡で、この土地を囲む洪海（しぶみ）川が天然の濠の役目を果たしました。



すがかり
菅刈古道入口



道標

観音様の左右に「右つまりみち」「左松竹山みち」と彫られています。



石ベンチ

大きな牛が寝そべったような形の巨石が3つ並んでいます。



展望広場

展望広場からは、四方を見渡すことができます。写真は、松代方面の眺めです。



石の花立

ここに花を立てて、谷を隔てた松竹神社に旅の安全祈願をしたものと思われます。



いぬぶせ
犬伏城跡登り口

菅刈方面から犬伏城への道は、擬木の階段が整備されています。



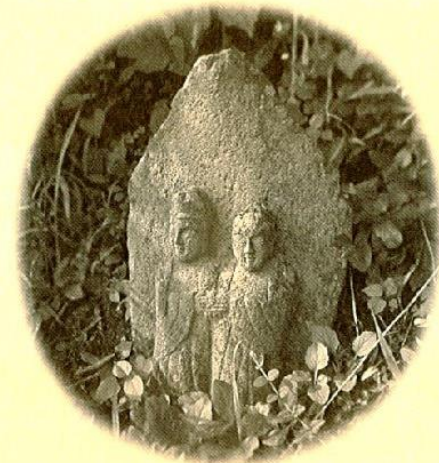
犬伏城跡

標高365m。松代町に残る山城跡の中で、最も大きな城だと思われます。

文化庁『歴史の道百選』選定 古道 松之山街道 (2009大河ドラマ『天地人』 をつなぐ「上杉軍道」)



うまさぎっしり新潟
新潟デスティネーションキャンペーン
2009.10/1~12/31



新潟県十日町市松代

十日町市まつだいへようこそ



アクセス

■電車で

〈上越新幹線〉
越後湯沢駅乗換→ほくほく線まつだい駅(約45分)
〈北陸本線〉
直江津駅乗換→ほくほく線まつだい駅(約40分)
まつだい駅から徒歩3分で熊越山上り口へ

■車で

関越自動車道→六日町ICからR253経由 (約50分)
→越後川口ICからR117・R253経由 (約50分)
北陸自動車道→上越ICからR253経由 (約60分)

インフォメーション

■十日町市松代支所 ☎025-597-2220
■松代交番 ☎025-597-2010
■県立松代病院 ☎025-597-2100
■まつだい駅観光案内所 ☎025-597-3442
■東部タクシー ☎025-597-2254

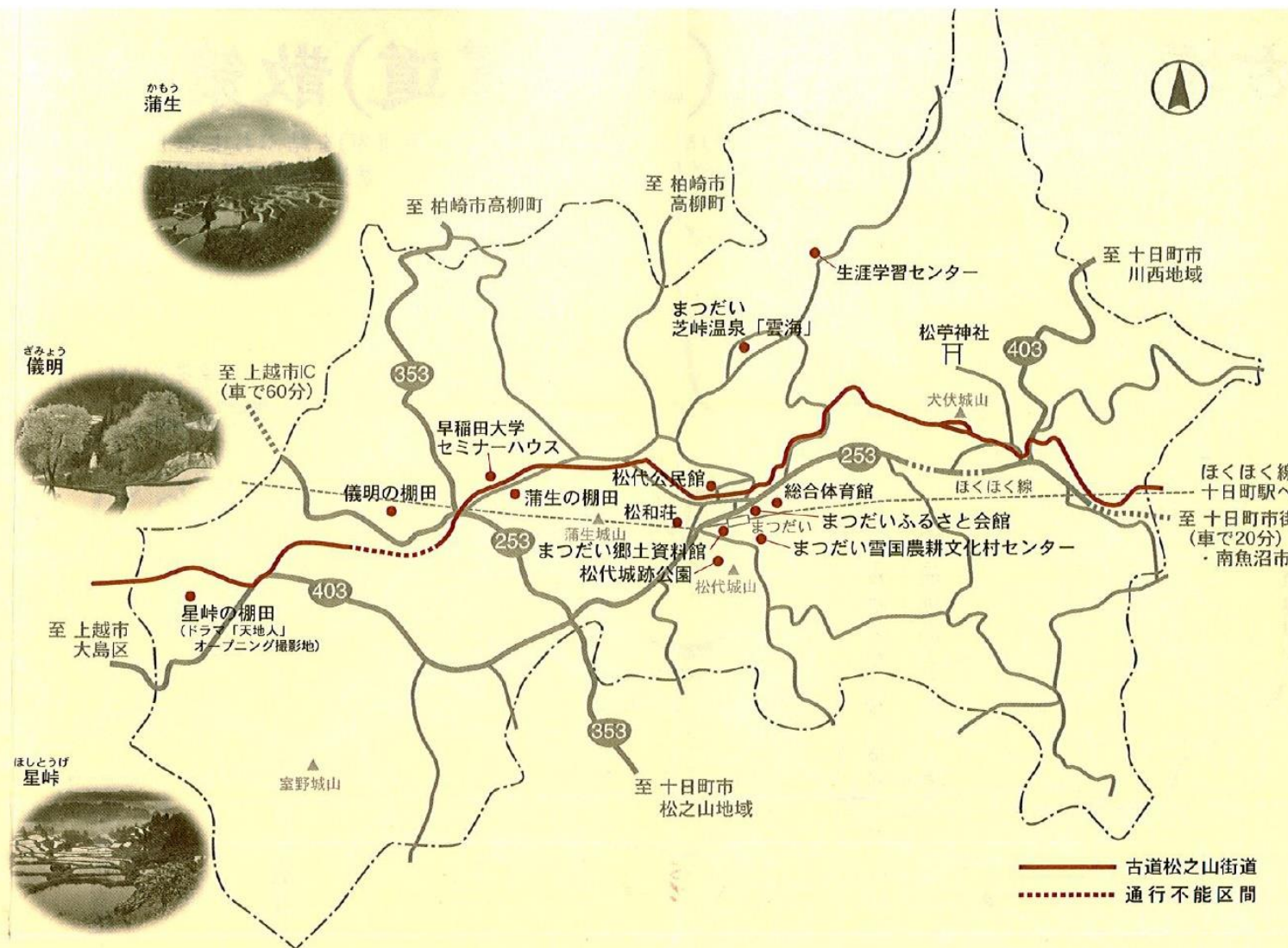
松代・松之山温泉観光案内所

E-mail: matsu-matsu@tokamachishikankou.jp
☎025-597-3442 FAX025-594-7444

十日町市松代支所 地域振興課

E-mail: ms-chiiki@city.tokamachi.lg.jp
☎025-597-2220 FAX025-597-2526
〒942-1592 新潟県十日町市松代3252-1

2009.03作製



—— 古道松之山街道
..... 通行不能区間

観光・宿泊のご案内

観光施設

■十日町市まつだい郷土資料館

十日町市松代3718 ☎025-597-2138

まつだい郷土資料館は、昭和10年頃に建てられた入母屋檜造り農家を利用した資料館です。平成21年に現在の場所に移築されました。縄文時代の遺跡出土品や中世の古文書、雪国の民具や農具などが展示されております。

■入館料:

一般(高校生以上) 300円(団体 200円)
小・中学生 100円 ※団体は10名以上

■定休日: 水曜日・年末年始

■松代城跡公園キャンプ場・展望台

■松代城の広大な敷地を利用した「松代城跡公園」内にあり、バンガロー3棟、テントサイト(約10張)、炊事棟などの設備があります。バーベキューや野鳥観察、森林浴、星空観察など、思い思いの休日を楽しめます。また、大地の芸術祭の拠点施設「まつだい農舞台」を中心としたアート散策もおすすめです!

■利用申込・お問合せ窓口:

十日町市松代支所 地域振興課
☎025-597-2220 FAX.025-597-2526

※利用日の2日前までにご予約ください。
前日・当日の受付はできません。

宿泊施設

■まつだい芝峠温泉「雲海」

http://www.shibatouge.com/

十日町市蓬平11-1

☎025-597-3939 FAX.025-597-3926

■利用料金: 1泊2食 12,500円~(税込)

■日帰り温泉入館料: 600円 小学生: 300円 幼児: 無料

■日帰り温泉定休日: 水曜日

その他の宿泊施設、詳しい観光情報は、

十日町市観光協会まつだい支部までお問合せください。

☎025-597-3442 FAX025-594-7444

http://www.tokamachishikankou.jp/

十日町市松代3816-1道の駅まつだいふるさと会館内

松之山街道(上杉軍道)にまつわる市の文化財・遺跡など

まつお 松茸神社(国の重要文化財)

松茸山山頂(海拔360m)

に鎮座しています。

明応6(1497)年建立

で、茅葺屋根の木造建築

物としては県内最古の

ものです。

近郷の総鎮守で「松茸大権現」と呼ばれ、「麻織物」の神として信仰を集めていました。

松茸神社には、上杉謙信ゆかりの宝物が納められていました。



■備洲長船兼光の短刀(市の文化財)

全長45センチ 刀の中2.5センチ

この小刀は、上杉謙信が小田原の北条氏康を攻める途中、軍配とともに松茸神社に奉納したものと伝えられています。

■軍配(市の文化財)

全長49.1センチ 最大巾15.7センチ 木製

黒漆地に大きな金彩の日の丸が配され、裏は、黒漆地に赤の日の丸が配され、質素で優雅な趣があります。

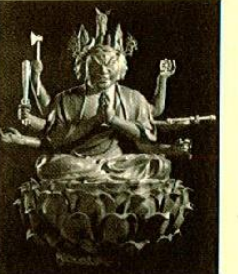
謙信の関東管領職就任祝と武運長久の祈願をこめて奉納されたものと思われます。

白馬観音像(市の文化財)

今はなき白馬観音堂(松茸神社中院)の本尊で、木造の冠頭の馬は白色の馬頭観音像です。台座は蓮華座、魚鱗葺きとなっています。

本体の像高 36.3センチ

台座の高さ 17.0センチ



いぬぶし 犬伏城(市の文化財<遺跡>)

自然の地形を利用して築城し、春日山城の支城として上杉謙信の領国支配に欠くことのできない地位にありました。

標高365mの頂上、東西12m、南北32mの平坦地に本丸、本丸の東真下の東西28m、南北14mの平地に二の丸があり、二の丸の南方に別に延びている尾根の東西18m、南北10mの平地に三の丸がありました。春日山城から、直峰、犬伏、坂戸城と関東に対し最短距離の中間地点にあり、しかも松茸神社を擁している犬伏城については、歴代の越後国主にとっては重要中の要衝であったことに間違いなく、そうそうたる城主を配していました。